



■発行/都会メディカルケアシステム 渡辺 康介
 ■編集/地域広報委員会 京都市北区大宮南田尻町59番地
 ■ホームページ/http://www.miyakokai.or.jp/
 ■お問い合わせ/info@miyakokai.or.jp

理念

- 患者様・ご利用者様の立場にたったキュア(医療)・ケア(介護)を提供いたします
- 医療・介護・福祉を通して地域、社会に貢献いたします
- 職員の質の向上をはかります



今月のご長寿様

川井 ヨシ様 99歳
 生年月日 大正6年 1月 24日
 「娘夫婦、孫、ひ孫がいて幸せです。」

着任のご挨拶



渡辺西賀茂診療所
 小原 章央

これまで京大病院、洛和会音羽病院で糖尿病の研究と診療に従事し、渡辺西賀茂診療所では非常勤医として勤務しておりましたが、8月1日より常勤医として勤めさせて頂くこととなりました。訪問診療と渡辺医院での外来を担当します。実は糖尿病診療と在宅医療は「多職種連携」という点で共通しています。糖尿病は医師の外来診療だけでなく、看護師、薬剤師、栄養士、リハビリスタッフ、歯科医師などの各専門職の関わりがあつてはじめて、患者さんの療養をお手伝いすることが出来ます。

在宅医療も同じです。例えば治療方針を考えていくときに、医師が治療の方法を考えるだけでなく、そこに看護師や介護の各専門職が加わることによって、患者さんの生活の中での療養を考えることができるようになります。

患者さんが自宅など住み慣れた場所で生活を送りながら療養を続けるためには、医療・介護の各専門職がそれぞれの専門性を活かすこと、そのためにお互いが連携することが必要であり、その調整役は在宅医療・介護における医師の使命であると考えています。この立場で私は、今後も患者さんの在宅での療養と生活がより良いものになるようお手伝いしていきたいと思っております。

研修報告

「多職種連携について」

シヨートステイにしがも 佐藤 大輔

今回の研修は「多職種連携について」というテーマでした。都会にはご利用者の生活を支える為に複数の事業所があり、医師をはじめ看護師、リハビリ職、ケアマネジャー、介護職等が日々皆さんのお手伝いをしています。私は介護職としてケアや業務に携わっていますが、その中で連携の重要性を感じている一方で連携を取っていく為に何をすればいいのだろうかと思っていました。今回の研修では、私達が日頃から意識している「報告・連絡・相談」を重視していくだけでは連携を深めていくことはできない。連携を深めていくには情報を発信する側と情報を受け取る側がそれぞれ互いの事を理解して共感していかなければいい連携にはつながらないという事を学ぶことができました。今回学んだ事を生かして、ご利用者の為にいい連携がとれるよう各職種の特徴を更に理解し、情報の伝え方受け方を見つめ直していきたい。そしてミーティングや担当者会議の場でも多職種間での信頼関係を深めていき、ご利用者の生活が充実したものとなるようにしていきたいです。

全体研修

「連携とチームアプローチ」に参加して

渡辺西賀茂診療所居宅介護支援事業所

小長谷 純子

去る8月6日に多職種連携について、京都府介護支援専門会副会長の松本義則先生よりご講義頂きました。日頃より、多職種連携は大切と頭では分かっているも何故大切なのか、どうやって行えばいいのかわかっているようではなかった部分を今回の研修で整理できたように思います。私達は日々担当する利用者様の生活を守るために様々な専門性を持って、支援しています。しかし、いかに専門的に支援できてもそれぞれがバラバラな方向を向いていては目標を達成するのは難しくなります。まずは私たちの法人から「聴くスキル・伝えるスキルを習得し、活発に連携に向けて発言できる職員になっていければと思います。」

インフルエンザワクチン接種を受けましょう。

高齢者やハイリスク者(心臓・腎臓・呼吸器疾患のある方)はインフルエンザの感染から重症化しやすいと言われています。ワクチン接種を行っても感染を完全に防ぐことはできませんが、重症化や合併症のリスクを下げる事が期待できます。

・ワクチンについて

人間の身体には、ウイルスに感染するとそのウイルスを排除する働きをもった物質(抗体)を作り、次に同じウイルスが入ってきたても感染症になりにくくする「免疫」という働きがあります。この働きを利用するのが、ワクチン接種です。

現在日本国内で使われているインフルエンザのワクチンは「不活化ワクチン」で、安全性が高いワクチンです。

2015年までは、A型の2種類、B型の1種類、計3種類のインフルエンザウイルスに対して効果がありました。

2015年からは、A型が2種類、B型が2種類の計4種類のインフルエンザウイルスに対応しています。そのため、より多くの種類のインフルエンザウイルスによる重症化を防ぐことが可能になります。

・予防効果持続期間
 ワクチン接種後2週間目頃から5ヶ月間程度

・接種時期
 10月17日から各医療機関で接種が可能となります。流行が始まる12月頃までに接種を完了することが望ましいとされています。

*副作用や接種が難しい疾患の方もありますので、医師にご相談の上受けるようにしてください。

感染衛生委員会



クロスワード「答え」

1	ヨ	2	ア	3	ケ	4	ホ	タ
5	ク	6	チ	7	ベ	8	ツ	ル
9	ツ	マ	カ	メ	イ	メ		
10	バ	サン	マ					

(マツタケ)

モデルサム基金

善意の浄財を、皆様のより良い生活のお手伝いのためのボランティア活動に活用させていただきます。吉田 好三様、田尻・北ノ岸町内会様 どうもありがとうございました。

渡辺医院



渡辺医院

渡辺 都美

渡辺医院開設後、早31年経過いたしました。

今でも数多くの患者さんとの思い出がよみ返ってきます。患者さんとの会話で鮮明に覚えている場面もいくつもありま

す。私は開院当初より次の3つの事を目標にしてまいりました。

1つは、患者さんの背景、環境をよく見るように心がけるように努力させていただいています。患者さんの病変が悪化する場合、必ず何らかの背景があります。例えば75才心疾患で通院しておられる女性の場合、御主人の認知症がひどくなっ

て夜間徘徊や大声を発するようになり、夜も眠れなくなりストレスで心不全が悪化してしまいましたが、御主人がグループホームに入所された途端、御主人も奥様もどちらも症状が安定され、今はすっかり元気で通院されています。

もちろん私ではどうにもできないことが多くありますが、少なくとも背景をよく理解し、少しでもアドバイスさせていただけたらと考えています。

2つ目は患者さんの病気を病名で考えるのではなく、全体的に見させていただくということです。

例えば高血圧で60才の女性が通院している場合、単に高血圧の治療をするだけでなく、この方が高齢期に入っていた場合、健康年齢に大きな影響を与える骨密度、筋肉量、動脈硬化進展度にも常に留意し、悪化してきた場合早期より介入することによって、少しでも健康寿命が長くなるようお手伝いさせていただきたいと考えています。また、意外に見落とされがちな高齢者女性に多い甲状腺疾患にも留意し、早期治療に入れるように心がけています。

3つ目はできるだけ長く患者さんとおつき合ひさせていただきたいということです。最も長い方で30年近く通院していただいている方がいますが、長いおつき合ひをしていますと、この間にいろんな出来事が生じます。

例えば身内の方を亡くされたり、事故に遭われたり、癌を発症されたりと…。長い人生のある一定の間、患者さんの

そばにいらしていただいで、一緒にぼやいたり、嘆いたり、あるいは喜んでいたり、共感させていただけたらなと思っています。

私もいつの間にかえらい年になってしまいました。今までの経験を活かして、また日々努力して新しい知識を導入し、渡辺医院に来られる患者さんと真摯におつき合ひさせていただきたいと考えております。



外来担当医変更のお知らせ

平成28年8月1日より、外来担当医が下記の通り変更になっております。ご通院中の患者様にはご不便をおかけしておりますが、ご理解の程よろしくお願ひいたします。

月曜日	午前	小原 章央
木曜日	午前	渡辺 康介
金曜日	午後	小原 章央

		月	火	水	木	金	土
午前	8:30~12:30	小原章央 内科・糖尿病 ・内分泌	渡辺都美 内科・循環器	渡辺都美 内科・循環器	渡辺康介 内科・泌尿器	渡辺都美 内科・循環器	渡辺康介 内科・泌尿器
午後	18:00~20:00	※渡辺都美 内科・循環器		渡辺康介 内科・泌尿器		小原章央 内科・糖尿病 ・内分泌	

※月曜 午後のみ(17:00~19:00)

渡辺西賀茂診療所



渡辺西賀茂診療所

徳田 幸子

Q1 出身

亀岡市で生まれました。5歳の時に城陽市へ転居しました。

Q2 専門

小児科です。なかでも予定日より早く生まれた赤ちゃんや病気をもった赤ちゃんの集中治療を行う新生児医療を専門とし、この

診療所にお世話になる前は、京都府立医科大学附属病院の新生

「渡辺西賀茂診療所では現在、常勤医4名、非常勤医6名の体制で訪問診療、往診、皮膚科外来診療を行っております。今回は、7月より常勤医として着任された徳田幸子先生をご紹介させて頂きます。」

児集中治療室(NICU)に勤務していました。

赤ちゃんが病院を退院した後は、外来でフォローアップしていますが、近年、在宅用の人工呼吸器や在宅酸素療法、経管栄養、導尿などを必要とする医療依存度の高い赤ちゃんが退院することが増えていて、小児においても在宅医療の必要性を強く感じています。今後、小児の在宅医療にかかわっていくために、大学病院では学ぶことができなかった在宅医療を勉強させていただいています。

Q3 西賀茂診療所で感じていること

診療所では成人を中心に訪問診療に行かせていただいています。ここでは医療とあわせて看護、介護、日常生活支援などが境界線が引かれることなく連携されています。朝は多職種でカンファレンスすることで情報を共有でき、カンファレンス以外の時間帯でもワンフロアなので相談しやすい環境になっていて、多職種の方と目標とプロセスを共有しやすいと感じました。患者さんをいろいろなお職種の方が支えていることを実感しています。

Q4 在宅ならではの光景(在宅と病

院の違いについて)

前職では病棟の中にデスクをおいていたので、いつもアラームの音が近く

皮膚科



渡辺西賀茂診療所

皮膚科 野崎 健一

今後の皮膚科外来診療について

渡辺西賀茂診療所皮膚科を開設して早いもので8年が経ち、その間多くの

でしていただきました。ご自宅はその機械音がありません。訪問診療にかかわった当初は気づきませんでした。ある日、前の職場に行ったときにアラーム音を聞いて気が付きました。

あと、違いについて言えば、自宅は患者さんの「ホーム」、病院は医療者の「ホーム」だと感じました。自宅において医療を提供できることは、病院で受ける医療と多少異なるかもしれませんが、

Q5 今後の展望

患者さんの「ホーム」での医療に早く馴染みたいと思います。今後は成人の方だけではなく、小児の在宅医療にもかわりたいと思っています。明るく寄り添えるようにこれからも精進します。で、よろしくおねがいいたします。

患者様にご利用頂き、カルテ数も13000を超えるに至りました。他皮膚科さんとの差別化を図るべく、より処置に重きをおいて(巻き爪矯正処置、たこオノメ処置、手術など)診療を続けて参りましたが、今後は更にこれらを推し進めトータルフットケアをやりたいと考えております。どうぞこれからも渡辺西賀茂診療所皮膚科を宜しくお願い致します。

皮膚科診療時間

時間	曜日	月	火	水	木	金	土
9:00~12:00		○	○	○		○	○
14:00~16:00		往診	往診	往診		往診	
18:00~20:00		○	○	○		○	

アトピー・水虫・巻き爪・肌のことなどでお悩みの方ご来院ください。TEL.075-493-2154

夏の行事紹介

ほっこり庵

ほっこり庵の夏祭りを8月6日に行いました。太鼓や南京玉簾、フラダンス等の出し物や射的や的あてゲーム、昆虫(クワガタ)標本展示、かき氷やカレー・焼きそば等のブースも準備。ご入居者とご家族はもちろん地域の方やスタッフも含めて楽しく交流できる時間となりました。今回の夏祭りは、おせっかいカフェの参加者も来て頂き沢山の人が賑わいました。



ショートステイにしがも

「ショートステイでの一日はデイサービスのように、みっちりスケジュールがあるわけではありませんが、施設理念にあるように「また来たい。」と思って頂けるようにレクリエーション等を工夫しています。写真は一例ですが、ご利用者と共に私たちスタッフも楽しませて頂きました。」



茶団子



七夏の飾りつけ



手打ちうどん



スイカ割り



西賀茂デイサービスセンター

8月の18、19日に西賀茂デイ夏の大イベント!夏祭りを開催しました!今年の夏祭りは、「一味違う」をテーマに例年以上に催し物を増やし内容盛りだくさんで行いました。笑顔あふれる夏祭りになって良かったです。7、8月と2回流しそめん大会を開催しました!暑かった今年の夏にはピッタリで、涼しさを感じるひと時でした...また、来年もお楽しみに~!!



一乗寺ほっこり庵

「8月7日に夏祭りを開催しました。今年は地域の方々も多数参加され、射的や輪投げ、かき氷などの屋台に、日本舞踊や和太鼓演奏で今年も賑やかに盛り上がりました。」
よろしくお祈りします。



1	2	3	4
	5		6
7		8	
	9		
10		A	

「クロスワード」
問題 A~Dをつなぐと答えです
出題 小田正

- 〈へたてのカギ〉
- 1 陽の昇る頃
 - 5 だから無口なのか
 - 7 刺身の〇〇
 - 8 千年生きるとか
 - 9 万年生きるとか
 - 10 喜劇役者の別称
 - 2 聖書によると元は天使
 - 3 一文惜しみ
 - 4 腹部が発光する
 - 6 本名ではない
 - 7 飛行機にも鳥にもある
 - 9 赤子泣いても蓋取るな

委員会紹介 福利厚生委員会



バドミントン大会



バーベキュー

医療・介護サービスにおいて、チームケアが重要視されています。チームケアを円滑に進めるためには、職員間のコミュニケーションが大切な鍵になります。コミュニケーションが円滑に取れることは、結果的に良い医療・介護サービスに繋がると考えられます。そのため、私達福利厚生委員会では、職員同士の懇親を深め、より柔軟性のある関係作りの手段として各種のイベントを開催しています。例えば、スポーツ交流会やバーベキュー大会などです。これからも、職員が働く上で互いの親睦を深め、働く上でメリットとなる部分を考え実行していきたいと思えます。

福利厚生委員長 中村 直子

デイサービスセンターつるさんかめさん



みたらし祭りに行ってきました



麦わら帽子似合うでしょ!



一応スタッフです...



大文字の消炭でお守りを作りました

